



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社マキヤ

上場取引所 東

コード番号 9890 URL <http://www.makiya-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原崎 康雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理・財務統括部長 (氏名) 矢部 利久 TEL 0545-36-1000

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	47,693	2.9	459	△9.6	703	△5.8	451	△4.3
29年3月期第3四半期	46,332	1.6	507	△1.6	746	2.4	471	△6.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 558百万円 (△20.6%) 29年3月期第3四半期 703百万円 (30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	45.17	-
29年3月期第3四半期	47.22	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	32,748	14,430	44.1	1,445.46
29年3月期	30,369	14,022	46.2	1,404.53

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,430百万円 29年3月期 14,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	7.50	-	7.50	15.00
30年3月期	-	7.50	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,300	1.9	475	△2.6	840	0.6	380	35.5	38.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	10,540,200株	29年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	556,722株	29年3月期	556,722株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	9,983,478株	29年3月期3Q	9,983,478株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られ、引続き緩やかな景気回復基調で推移しております。海外においては、米国の景況感が改善しているもののトランプ政権の動向や、世界的な地政学的リスクが海外経済の下押し圧力となる可能性があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

個人消費につきましては、雇用者所得は穏やかな回復傾向にあり、実質雇用者所得は拡大しているものの、エネルギー価格の上昇等により消費者マインドに足踏みがみられるなど、依然として不透明な状況で推移しております。

当小売業界におきましても、消費者の将来不安に対する生活防衛志向、競合店出店に伴う「価格競争」の激化など、依然として厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、「品揃え」の充実と「価格」の安さの実現、「品質」の改善と「サービス」の充実強化を重点施策として取り組んでおります。特に「品揃え」の充実と「価格」の安さの実現においては、弊社が食品商品分野で加盟している「CGCグループ」と非食品商品分野で加盟している「NID(日本ドラッグチェーン会)」、並びに自社開発も含めた「PB(プライベートブランド)商品」の販売を強化し、これら「PB商品」の売上構成比を前連結会計年度末時点の6%から当連結会計年度中に20%まで引き上げることを計画し、当第3四半期連結会計期間末時点では、約10%まで引き上げております。

また、当社グループは、社会貢献活動にも力を入れており、昨年の藤枝市への福祉車両の寄贈に続き、今年は沼津市に福祉車両、公用車、玩具を寄贈し、子育て支援や児童福祉などの各事業で活用されております。

当第3四半期連結会計期間の店舗政策につきましては、エスポット店内にザ・ダイソーチェーン店を2店舗出店いたしました。

区分	店舗名	年月	備考
開店	ダイソーエスポット淵野辺店 (相模原市)	平成29年10月	新規開店
開店	ダイソーエスポット富士店 (富士市)	平成29年12月	新規開店

①売上高

当第3四半期連結累計期間の売上高は、476億93百万円(前年同期比2.9%増)となりました。『フード(食品)部門』につきましては、競合店の出店の影響等により下振れ要因はあったものの、引続き「エスポット(フード)」「業務スーパー」「マミー」を中心に順調に推移し、生鮮及び加工食品ともに前年同期を3%以上上回る結果となりました。『ノンフード(非食品)部門』につきましては、ヘルス&ビューティー商品、カー用品、灯油等が前年同期を上回ったものの、生活関連商品やレジャースポーツ用品等の販売が低調だったため、前年同期をやや下回る結果となりました。「ハードオフ」「エ・コモード」等の専門店につきましては、引続き堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。

②営業利益及び経常利益

当第3四半期連結累計期間の営業利益は、4億59百万円(前年同期比9.6%減)、経常利益は、7億3百万円(前年同期比5.8%減)となりました。既存店は、引続き売上総利益率の改善や経費削減効果により経常利益は前年を上回ったものの、前連結会計年度に新規出店した店舗の人員費や固定費負担の増加、当連結会計年度に改装した店舗の改装一時経費の増加により、販売費及び一般管理費が4億1百万円増加したこと等によるものであります。

③親会社に帰属する四半期純利益

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、4億51百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は327億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億78百万円増加いたしました。

流動資産は94億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億98百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が10億60百万円、商品が6億60百万円、売掛金が2億70百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は232億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億80百万円増加いたしました。これは、店舗の建替え建設費や土地の取得等により、有形固定資産が2億58百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は183億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億70百万円増加いたしました。

流動負債は120億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億41百万円増加いたしました。これは、買掛金が12億21百万円、短期借入金が4億68百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が1億38百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は63億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して70百万円減少いたしました。これは、退職給付に係る負債が53百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は144億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億8百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期における通期の業績予想につきましては、平成29年11月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,658	2,384,523
売掛金	476,442	746,538
商品	5,301,364	5,961,941
その他	393,970	400,744
貸倒引当金	△380	△575
流動資産合計	7,495,055	9,493,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,697,079	9,689,560
土地	7,470,102	7,701,006
その他(純額)	1,143,978	1,179,272
有形固定資産合計	18,311,161	18,569,839
無形固定資産	664,685	669,034
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,388,972	2,465,703
その他	1,509,784	1,550,909
投資その他の資産合計	3,898,756	4,016,613
固定資産合計	22,874,603	23,255,486
資産合計	30,369,658	32,748,658
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,856,500	6,078,021
短期借入金	2,867,555	3,336,170
未払法人税等	134,421	158,160
賞与引当金	99,224	151,440
役員賞与引当金	2,730	2,575
ポイント引当金	85,564	90,514
その他	1,928,269	2,198,586
流動負債合計	9,974,265	12,015,468
固定負債		
長期借入金	3,662,847	3,667,480
退職給付に係る負債	830,688	777,510
役員退職慰労引当金	105,739	79,030
資産除去債務	539,178	551,773
その他	1,234,754	1,226,641
固定負債合計	6,373,207	6,302,435
負債合計	16,347,472	18,317,904

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	11,784,673	12,085,938
自己株式	△446,185	△446,185
株主資本合計	13,620,435	13,921,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556,886	640,670
退職給付に係る調整累計額	△155,135	△131,617
その他の包括利益累計額合計	401,750	509,053
純資産合計	14,022,186	14,430,753
負債純資産合計	30,369,658	32,748,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	46,332,676	47,693,085
売上原価	36,383,556	37,391,026
売上総利益	9,949,120	10,302,058
販売費及び一般管理費	9,441,247	9,842,935
営業利益	507,872	459,123
営業外収益		
受取利息	150	34
受取配当金	16,001	16,712
受取家賃	335,358	330,246
その他	109,121	116,627
営業外収益合計	460,632	463,620
営業外費用		
支払利息	32,868	25,426
不動産賃貸費用	176,921	174,776
その他	11,830	19,103
営業外費用合計	221,619	219,306
経常利益	746,885	703,436
特別利益		
受取保険金	26,990	—
特別利益合計	26,990	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	11,963	—
火災損失	24,819	—
特別損失合計	36,783	—
税金等調整前四半期純利益	737,092	703,436
法人税、住民税及び事業税	238,883	235,773
法人税等調整額	26,718	16,646
法人税等合計	265,602	252,419
四半期純利益	471,490	451,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	471,490	451,017

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	471,490	451,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	217,442	83,784
退職給付に係る調整額	14,573	23,518
その他の包括利益合計	232,016	107,302
四半期包括利益	703,506	558,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	703,506	558,319
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。